



ボラン。て

8月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～



ささえあい
これからも

杉並社協 創立70周年



社会福祉法人視覚障害者支援総合センターチャレンジは、杉並区社会福祉協議会「地域福祉活動費助成金」チャレンジ応援助成を活用して、2022年10月14日（金）に「バリアフリー映画会」を行います。

※今回の「バリアフリー映画会」は、視覚に障害のある方も鑑賞できるように、音声ガイドを加えて上映します。

【特集】

社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 就労継続支援B型「チャレンジ」

3面・・・「地域とつながろう講座チャレンジ・ボランティア」
区立西宮中学校 社会貢献教育講話
傾聴ボランティアグループ連絡会
裏面・・・災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座

施設長 ^{しょうの} 醬野 ^{はるよ} 晴代さん(写真右)

利用者 ^{やまぐち} 山口 ^{なな} 奈々さん(写真中央)

生活支援員 ^{うえた} 植田 ^{さやか} さやかさん(写真左)

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

「社会福祉法人視覚障害者支援総合センター」は、視覚障害者等の障害者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会で営むことができるよう支援することを目的とした組織です。1987年に「盲学生情報センター」として設立され、1996年に法人化されました。

同法人にある「**就労継続支援B型※注1 チャレンジ**（以下、「チャレンジ」）」は、視覚障害者の就労・生活支援をする行方事業所として、1998年に開設（当時は「視覚障害者就労訓練施設チャレンジ」）されました。現在、利用者17名、職員6名で運営しています。

※注1 障害者等で一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供し、必要な訓練等を行う福祉サービス。

団体の活動内容について

社会福祉法人視覚障害者支援総合センターは、点字の発行物、視覚障害者向けの音声データ等を中心に、盲学校の点字教科書、点字版の自治体広報誌や選挙公報等を作成しています。その他にも、点字の通信教育や、大学の教科書等の点訳も行っています。

チャレンジはその事業の一部を請け負い、点字の校正や朗読音源のダビングを行っています。また、利用者が製作した点字カレンダー等の販売もしています。



▲点字の校正
(パソコンで行います)

地域との連携づくりで目指していること

今回映画会を開催する大きな理由は、**地域とのつながりを持ちたい**からです。そのためには、まず地域の皆さんに私たちの存在を知ってもらうことが大切だと考えています。例えば災害時にも、地域とのつながりがあればご協力いただけるかもしれません。

日常の中でも、地域とのつながりの大切さを感じることがあります。身近な所では、いつもコンビニの方が親切にしてくださり、安心して買い物ができます。また、利用者がよく行くラーメン屋さんが急遽お休みされる際、お店の張り紙が見えない利用者のために、わざわざ施設へ電話で知らせていただいたことがありました。まずは利用者や施設の存在を



▲ユニバーサルデザインのカレンダー



▲広報すぎなみ点字版

社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 就労継続支援B型チャレンジ

〒167-0034 杉並区桃井4-4-3スカイコート西荻窪2
TEL：03-5310-5052 メール：mail@sientcenter.or.jp

※映画会については、上記チャレンジまでお問合せください

杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。

今回はその中の一つ、**チャレンジ応援助成団体※**

「**社会福祉法人視覚障害者支援総合センター就労継続支援B型チャレンジ**」施設長・野醬晴代さん、生活相談員・植田さやかさん、利用者・山口奈々さんに対象事業についてお話を伺いました。 ※チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

知ってもらうことが、地域とのつながりを生むのだと思います。

地域の方から支援していただくことは多いですが、私たちにもできることがあります。災害時には私たちの施設やトイレをお貸しすることもできます。また、点字や視覚障害のことについて知りたい方がいれば、自分たちの知識を伝えることができます。つながることで、その方の知識や気持ちを広げるお手伝いができると考えています。

私たちの存在をアピールするために、新たな試みも少しずつ始めています。「ピーポくん110番※注2」に今年から登録したり、近隣の方にオリジナルカレンダー（左下画像）を配布したりしました。他にも、近所の図書館で「点字の展示」という企画展が開催される際に、視覚障害者に関わる図書や点字図書を展示品として提供しました。そのおかげで、学生時代に点字に関わっていたという方が訪ねて来てくださったことがありました。

これからも益々、地域の方々に私たちの活動を知らせてもらい、活用していただきながら、連携していくことができると願っています。

※注2 子ども達が登下校時など、知らない人から被害を受けたり危険を感じたときに助けを求める非常通報箇所を設置する事業

助成事業「バリアフリー映画会」について

私たちの存在をさらに知っていただくために、今回はイベントの企画を考えました。気軽に多くの方が参加しやすい映画会を考え、助成金を申請しました。視覚障害に関連した映画を選び、音声ガイド付きのバリアフリー上映とします。施設のことを知ってもらうため、会場は近隣の西荻地域区民センターにしました。また映画の受付を利用者が行い、上映後にはアフタートークを予定するなど、会場にお越しの皆様との交流ができるような温かい会にできたらよいと考えています。

読者へのメッセージをお願いします！

この映画会をきっかけに、視覚障害がある方はもちろん障害のない方も、視覚障害者やチャレンジのことを理解してくださる方が増えると嬉しいです。そしてお互いが声を掛け合い、助け合って暮らしていけるような地域にしていきたいと考えています。

当日は職員・利用者一同、皆さんをお迎えしますので、ぜひ映画会にいらしてください。

<バリアフリー映画会>

開催日：令和4年10月14日（金）

時間：開演 13時（開場 12時30分）

終演 15時15分（予定）

会場：西荻地域区民センター ホール（桃井4-3-2）

内容：映画「警女GOZE」（上映後アフタートークあり）

料金：無料 定員：130名（要事前申込）

ご報告

地域とつながろう講座「チャレンジ！ボランティア」を開催しました

6月17日(金)と22日(水)の2日間、ウェルファーム杉並にて、「チャレンジ！ボランティア やってみませんか？福祉学習サポーター」を開催しました。

ボランティアセンターの職員が学校等で福祉学習の講義する際にサポートしていただく「福祉学習サポーター(うえる隊)」を養成する講座です。9名の方が受講されました。

<主な内容>

- 1日目：社会福祉協議会の概要、福祉学習を実施する目的、視覚障害者へのサポート(手引き体験)
- 2日目：高齢者模擬体験・白杖体験・点字・車いすの操作 等の実技

これからも杉並ボランティアセンターでは、ボランティア活動に一步踏み出す皆さんと地域活動をつないでいきます。



▲1日目の様子



▲2日目の様子

体験することでどのような福祉サポートが必要かイメージすることができました。

体験して視力障害の方や高齢者の方の気持ちが再確認できました。

<参加者の感想一部抜粋>

ご報告

区立西宮中学校 社会貢献教育講話

杉並区立西宮中学校では、社会貢献教育を積極的に行っています。

その一環として、6月24日(金)、杉並ボランティアセンターの職員が、西宮中学校3年生の授業にうかがい、「ボランティア～はじめの一步～」をテーマに講話を行いました。

地域や社会へ貢献することや、ボランティア活動の意義について理解していただくことを目的として、ボランティアにはどのようなものがあるのか、生徒の皆さんの意見を伺いながら一緒に考えました。



▲講話の様子

ご報告

傾聴ボランティアグループ 連絡会

杉並区内には傾聴ボランティアグループが13グループあります。6月30日(木)に、傾聴ボランティアグループ連絡会がウェルファーム杉並で開催され、傾聴ボランティアの現状についての報告、各グループの紹介と活動状況の報告や意見交換を行いました。

コロナ禍で、施設での傾聴ボランティア活動が激減していますが、連絡会で各グループの報告などをお聞きし、改めて傾聴ボランティアの必要性の高さを感じました。傾聴ボランティアが必要な方が身近にいらっしゃいましたら、ボランティアセンターまでご連絡ください。



▲連絡会の様子



▲区内で活動する傾聴グループの皆さん

Hello!

登録団体さ～ん Vol.05

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中!

協力者募集中。詳しくは mikangumi.com をみてね

◆特定非営利活動法人みかんぐみ

- 活動内容：重度障害児・医療的ケア児とそのご家族を支援するため、コンサート・遠足などの企画をはじめ、ピアサポート交流会、保護者の就労支援などを行っています。
- 活動場所：区内施設・オンライン
- 活動日時：随時



お問合せ

杉並ボランティアセンター

〒167-0032 天沼3-19-16

ウェルファーム杉並4階

TEL:03-5347-3939 FAX:03-5347-2063

H P: <http://borasen.jp/>

[ぼらせん.jp](http://borasen.jp)

検索



令和4年度 災害ボランティアセンター 運営スタッフ養成講座

この講座では、被災者と災害ボランティアをつなげる災害ボランティアセンターの受付や事務などでお手伝いして下さるボランティア（運営スタッフ）を養成します。いざというときには、地域をよく知る地元の方々のチカラが必要です。あなたのチカラを地域で活かしてみませんか？皆様のご参加、お待ちしております！



第1回 9月3日(土) 13:30~16:30

- ・杉並区社会福祉協議会について
- ・災害ボランティアセンターについて
- ・杉並区の防災について

【講師】

杉並区防災課職員
杉並ボランティアセンター職員

【会場】 ウェルファーム杉並 3階 第1・2教室
(天沼3-19-16)

第2回 9月17日(土) 13:30~16:30

- ・災害ボランティア体験
(活動者側視点)

【講師】

宮崎 賢哉氏
(災害支援・防災教育コーディネーター)

【会場】 ウェルファーム杉並 4階 第3・4集会室
(天沼3-19-16)

第3回 10月1日(土) 13:30~16:30

- ・災害ボランティアセンターの
運営シミュレーション
(運営者側視点)

【講師】

宮崎 賢哉氏
(災害支援・防災教育コーディネーター)

【会場】 ウェルファーム杉並 3階 第1・2教室
(天沼3-19-16)

第4回 10月15日(土) 13:30~16:30

- ・先輩ボランティアから
・まとめとふりかえり

【講師】

杉並災害ボランティアの会
杉並ボランティアセンター職員

【会場】 ウェルファーム杉並 3階 第3教室
(天沼3-19-16)

- 対象 災害支援に関心がある区内在住・在勤・在学の方
- 募集人数 20名(先着順)
- 参加費 2,000円(第1回目に会場でお支払いいただきます。)
- 申込み方法 杉並ボランティアセンター ホームページの申込みフォームから申込み(電話でのお申込みも受け付けます)
- その他 全4回の連続講座になります。原則、全回の出席をお願いいたします。
※申込締切8月30日(火)

主催：社会福祉法人杉並区社会福祉協議会／共催：杉並区／協力：杉並災害ボランティアの会

杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp

うえるくん
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30~17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内JR、地下鉄丸の内線など)・他